

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-72272(P2004-72272A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-226583(P2002-226583)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 1/46

G 0 6 T 1/00

G 0 6 T 5/00

H 0 4 N 1/60

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

G 0 6 T 5/00 1 0 0

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月2日(2005.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

色信号を変換する画像処理装置であって、

変換対象となる色信号を第1の表色系上で調整対象点として指定する色信号指定手段と

、  
前記調整対象点に対する調整量を前記第1の表色系とは異なる第2の表色系に基づいて対象点調整量として指定する調整量指定手段と、

前記対象点調整量に基づいて、前記調整対象点を含む周辺領域の色信号に対する調整量を、前記第2の表色系上で周辺調整量として算出する周辺調整量算出手段と、

前記周辺調整量に基づいて、前記第2の表色系上において、第1の色再現域内に位置する色信号を第2の色再現域内へ写像変換する写像変換手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記調整量指定手段は、前記調整対象点の変換後の目標値を指定することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記第2の表色系は均等表色系であることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記調整量指定手段は、前記調整量を前記均等表色系の基底成分毎に指定することを特徴とする請求項3記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記調整量指定手段は、前記均等表色系における明度、彩度、色相の各成分毎の調整量が得られるように、前記対象点調整量を指定することを特徴とする請求項4記載の画像処理装置。

**【請求項 6】**

前記写像変換手段は、前記均等表色系の基底成分毎に、所定の入出力関数による写像変換を行うことを特徴とする請求項 3 記載の画像処理装置。

**【請求項 7】**

前記周辺調整量算出手段は、前記調整対象点及び前記対象点調整量に基づいて、前記均等表色系の基底成分毎に調整関数を算出することを特徴とする請求項 6 記載の画像処理装置。

**【請求項 8】**

前記写像変換手段は、前記均等表色系の基底成分毎に、前記入出力関数に前記調整関数を加算して写像変換を行うことを特徴とする請求項 7 記載の画像処理装置。

**【請求項 9】**

前記第 1 の表色系は R G B 表色系であることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

**【請求項 10】**

さらに、前記写像変換手段による写像結果に基づいて色変換用のテーブルを作成するテーブル作成手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

**【請求項 11】**

色信号を変換する画像処理方法であって、

変換対象となる色信号を第 1 の表色系上で調整対象点として指定する色信号指定工程と

、  
前記調整対象点に対する調整量を前記第 1 の表色系とは異なる第 2 の表色系に基づいて対象点調整量として指定する調整量指定工程と、

前記対象点調整量に基づいて、前記調整対象点を含む周辺領域の色信号に対する調整量を、前記第 2 の表色系上で周辺調整量として算出する周辺調整量算出工程と、

前記周辺調整量に基づいて、前記第 2 の表色系上において、第 1 の色再現域内に位置する色信号を第 2 の色再現域内へ写像変換する写像変換工程と、

を有することを特徴とする画像処理方法。

**【請求項 12】**

コンピュータ上で実行されることによって、該コンピュータを請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の画像処理装置として動作させることを特徴とするプログラム。